

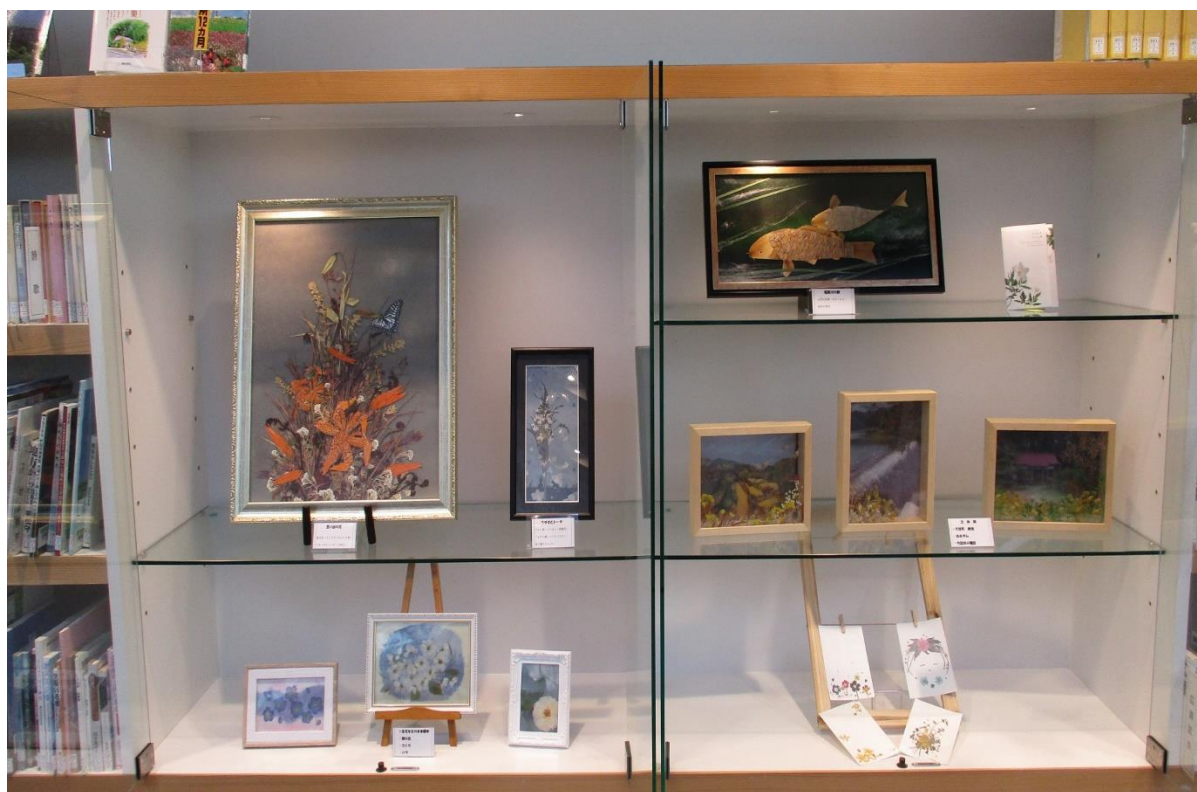
7月の「図書館の小さなギャラリー」

今回は、2004年(平成15年)から城下町でおし花工房「いちりん草」を主宰する安松裕子さんの作品を展示しています。是非図書館にお立ち寄りください。

安松さんは“竹田の自然そのままの姿を魅せる”ことにこだわり、全て竹田産の草花などを材料に自ら創作活動を行う傍ら、おし花教室やワークショップなどを通じて竹田の魅力を発信しています。また、WPF(ワールド・プレス・フラワー協会)の本部講師としてもおし花の普及活動に努められています。

2017年(平成29年)モナコ・日本芸術祭「造形芸術文化賞」受賞をはじめ国際的なコンテストでの受賞多数。

令和4年7月15日





山芋の花罌・セキショウ・牡丹の花弁を材料にした「稲葉川の鯉」



鬼百合・リンドウ・エノコロ草・アキノキリンソウ・山母子を材料にした「思い出の花」